



みどりの東北



新年ご挨拶

東北森林管理局青森事務所長 井上達也



新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、国有林野事業の運営にあたり、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼を申し上げます。さらに、昨年三月に発生した、東日本大震災に際しましても、ご支援、励ましをいただきありがとうございます。発生から十ヶ月弱が経ち、月日の流れの速さを思う一方で、被災地の状況から、あらためて、地震・津波被害の凄まじさを感じています。

東北森林管理局では、発生直後から、局署のネットワークによる、被災状況の把握・情報収集、救援物資の収集・運搬、国有林の特

徴を活かした、仮設住宅用の杭丸太用材の供給、被災した防潮堤、海岸松林の調査、仮復旧、瓦礫仮置き場として国有林の無償貸付、漁業用養殖筏用材の生産・供給など、被災地支援に取り組んできたところです。また、地域経済に配慮して、被災署等の事務機能の迅速な復旧、事業の早期発注を実施しました。さらに、三陸沿岸の木材加工施設等の被災・復旧状況、素材価格の動向を勘案し、約六万㎡の素材生産を削減するとともに、素材の広域流通を進めるなど、木材需給への機動的な対応にも努めてきたところです。今後、本格化する海岸防災林等の復旧工事、復興用木材の安定供給等に、万全の体制で取り組んでいくことといたします。

給施設の整備、瓦礫の無害化再生骨材を活用した海岸防災林の復旧・再生などの新たな取り組みが計画されており、これらに当たっても、国有林の組織、技術力、森林資源を活用して推進していきます。

今年は、国有林野事業の一般会計の動きも本格化します。「国民の森林としての国有林」をより意識するとともに、地域の森林・林業をリードする役割を果たすよう努力していきます。

森林・林業再生プラン実施元年であった昨年、新たな森林計画制度に基づく、国、都道府県、市町村レベルの森林計画等の改訂整備も進み、準フォレストラー研修等による人材育成、共同施業団地の設定など着実な進展を見ました。

プランの基本理念は、森林・林業を地域資源創造産業に導き、低炭素循環型社会の形成を目指すものであり、震災の復興における取り組みと大きく重なるものがあります。民有林との連携、施業集約、効率的な林業作業、木材の大量かつ安定的な供給、新たな木材需要の開発、雇用創出など、森林・林業再生プランをさらに推進し、震災復興へ貢献していきます。

未曾有の大震災に対して、今、我々の意思と力、そして新たな取り組みが求められています。これらにしっかりと取り組み、「元氣な日本」「元氣な東北」ひいては「元氣な日本」の復活となるよう職員一丸となって取り組んでまいりたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

皆様にとつて、本年がより良き年でありますことを祈念申し上げます。頭のご挨拶とします。

皆様にとつて、本年がより良き年でありますことを祈念申し上げます。頭のご挨拶とします。

皆様にとつて、本年がより良き年でありますことを祈念申し上げます。頭のご挨拶とします。

震災の復興再生では、東北地域の豊かな森林資源を活用して、木造による住宅や公共建築物の建設推進、木質バイオマスを活用した熱電併

給施設の整備、瓦礫の無害化再生骨材を活用した海岸防災林の復旧・再生などの新たな取り組みが計画されており、これらに当たっても、国有林の組織、技術力、森林資源を活用して推進していきます。

皆様にとつて、本年がより良き年でありますことを祈念申し上げます。頭のご挨拶とします。